

# 優しい日本人 哀れな韓国人

Tanaka Hideo

## 田中秀雄

日本近現代史研究者

半導体の原材料の対韓国輸出の見直しが始まった。徴用工問題で日本企業の資産差し押さえを強行しようとする国に対しては当然の措置である。河野太郎外相が駐日韓国大使を呼びつけて「きわめて無礼です」と抗議し、日本側の怒りを露わにした。これまた当然の外交措置だろう。この後も日本は外交でも、歴史問題でも、半歩も譲ってはならない。譲ったら負けだ。

(「まえがき」より)

- 第1章 西郷・勝・福澤の「征韓論」
- 第2章 閔妃暗殺の真犯人
- 第3章 「白磁の人」浅川巧が生きた朝鮮統治時代
- 第4章 朝鮮で「聖者」と呼ばれた日本人・重松訥修
- 第5章 慰安婦問題の本質——「まずはメシを食うことだ」
- 第6章 「半島の舞姫」崔承喜——反日の犠牲者
- 第7章 アナーキスト金子文子と朴烈
- 第8章 朝鮮総聯と民団——曹寧柱の「我が闘争」
- 史料 「徴用工」の嘘と朝鮮人労務者の真実

### 第4章

朝鮮で「聖者」と呼ばれた日本人・重松訥修

孤立無援の村に赴任……

「万歳騒擾事件」で暴徒に襲われる

天皇の下での平等……

朝鮮人と共に生きる……

私財を投じた鶏卵事業……

半島青年の意気……

皇軍輸送列車を「万歳」で迎える……

強制連行など聞いたことがない

「苛政は虎よりも猛」の好実例

### 第5章

慰安婦問題の本質——「まずはメシを食うことだ」

日本人と寝て首を斬られた朝鮮女性

オランダ映画が描いた朝鮮の売春家族……

天皇陛下に申し訳ない……

アメリカ軍のフィリピン人慰安婦……

朝鮮人慰安婦への愛情……

河野談話が唯一の「証拠」……

## 150年繰り返された 韓国の裏切り!

「マトモな国になってくれ!」日本人の願いと善意を踏みにじってきた韓国・朝鮮人。輸出を見直し、ホワイト国から除外した、いまこそ「新・征韓論」を!

田中秀雄

最終的かつ不可逆的な解決を合意した慰安婦問題を、政権交代後の文在寅大統領は勝手に再燃させた。日本大使館前の慰安婦像は撤去せず、今も新たに日本に謝罪を求め続けている。両国の最高機関での公式な合意であったものを自分の都合で破棄することは、自らに責任遂行能力が全くないことを認めたことを意味する。そういう国を信用する必要はない。まさに日本が河野談話を破棄する好機ではないか。

(本文より)